

第3章 地域の整備計画

1. 主な上位計画と関連計画の概要

農村環境計画は、国や県、市町村等の各種整備計画との整合を図る必要があるため、それら整備計画の概要を整理します。

(1) 国の主な上位計画と関連計画

1) 食料・農業・農村基本計画（平成22年3月）

「食料、農業および農村をめぐる状況を踏まえた政策的な対応」

再生可能な経営を確保

多様な用途・需要に対応して生産拡大と付加価値を高める取り組み

意欲ある多様な農業者を育成・確保する

優良農地の確保と有効活用を実現し得る

活力ある農山漁村の再生

安心を実感できる食生活の実現

「新たな理念に基づく食料・農業・農村政策の一体的展開」

戸別所得補償制度の導入

「品質」、「安全・安心」といった消費者ニーズに適った生産体制への転換

6次産業化による活力ある農山漁村の再生

2) 土地改良長期計画（平成24年3月）

【政策目標】

農地の大区画化・汎用化等による農業の体質強化

農地・水等の生産資源の適切な保全管理と有効利用による食料供給力の確保

被災地域の災害に強い新たな食糧供給基地としての再生・復興

ハード・ソフト一体となった総合的な災害対策の推進による

災害に強い農村社会の形成

農地の整備、安定的な水利システムの維持や農村環境の保全等による

農業・農村の多面的機能の発揮

地域の主体性・協働力を活かした地域資源の適切な保全管理・整備

小水力発電等の自立・分散型エネルギーシステムへの移行と

美しい農村環境の再生・創造

3) 21世紀新農政 2008 (平成 20 年 5 月)

「国際的な食糧事情を踏まえた食糧安全保障の確保」

国内外の食糧事情に関する情報の把握・提供体制の強化

国内における食料供給力の強化

農業に関する国際交渉等への戦略的な対応

「消費者の「食」への信頼確保と食生活の充実を図る施策の展開

消費者の信頼と食品の安全確保に向けた取り組みの充実

米を中心とする食生活の実践に向けた取り組み

食と農のつながりの深化に向けた取り組み

「国内農業の体質強化による食料供給力の確保」

意欲と能力のある担い手の育成

食料の生産基盤である農地の確保・有効利用の促進

先端技術や知的財産を活用した農業の潜在的な力の発揮

「地方再生に向けた農山漁村活性化対策の展開」

「農林水産業と食品産業等の連携の強化」

「暮らしを守る鳥獣害対策の展開」

「バイオマスの利活用の加速化」

国産バイオ燃料の大幅な生産拡大

地域の創意工夫を活かしたバイオマス利活用の推進

「地球環境保全に対する農林水産業の積極的な貢献」

農林水産分野における地球温暖化対策の強化

農林水産業における生物多様性保全の推進

「北海道洞爺湖サミットへの対応」

4) 環境基本計画 (平成 18 年 4 月)

環境的側面、経済的側面、社会的側面の統合的な向上

環境保全上の観点からの持続可能な国土・自然の形成

技術開発・研究の充実と不確実性を踏まえた取組

国、地方公共団体、国民の新たな役割と参画・協働の推進

国際的な戦略を持った取組の強化

長期的な視野からの政策形成

(2) 県の主な上位計画と関連計画

1) 新潟県「夢おこし」政策プラン (平成21年12月)

【基本理念】

「将来に希望の持てる魅力のある新潟県の実現」

【政策目標】

「本県産業をめぐる経済環境を整え、産業の高付加価値化を進める」

「県民が安全で安心して暮らせる新潟県をつくり県民満足度を高める」

【農業・農村環境に関連する政策】

「魅力ある農林水産業の実現」

産業として成り立つ農林水産業の展開

農山漁村の多面的機能の発揮

若者に魅力的な住み良い農山漁村の生活環境整備

「環境の保全と循環型の地域社会づくり」

人間と自然が共生する暮らし

安全で快適な環境づくり

資源を大切に作る循環型の地域社会づくり

2) 新潟県環境基本計画 (平成19年3月)

【基本目標】

「豊かな自然とふれあう新潟の実現」

「クリーンな水、さわやかな空気の新潟の実現」

「環境の環が広がる新潟の実現」

【施策の展開】

県民の参加・協働で環境保全に取り組む社会づくり

自然と共生した潤いのある社会づくり

環境に負荷の少ない安全で快適な社会づくり

資源循環型の社会づくり

地球環境問題に積極的に取り組む社会づくり

環境保全の共通基盤の整備

3) にいがた農林水産ビジョン (平成18年3月)

【実現に向けた取り組み】

「安全・安心で豊かな食の提供」

「産業として成り立つ魅力ある農林水産業」の実現

「多面的機能を発揮する農山漁村の維持発展」

4)新潟県 農業農村整備の展開方向(平成23年5月)

【基本方針と3つの柱】

農地・水を守り育み、安全・安心で魅力的な食料供給基地“新潟”の実現

「産業として成り立つ農業の展開」

「農村の多面的機能の発揮」

「魅力的な住み良い農村の環境づくり」

(3) 市の主な上位計画と関連計画

1) 柏崎市第四次総合計画 後期基本計画 (平成24年3月)

～好きです 輝く柏崎～

【農林水産業の振興】

「営農システムの再構築と経営構造の改善」

「地産地消の推進」

「魅力ある農産物の拡大」

「6次産業化の推進」

「国営土地改良事業の推進と生産・環境基盤の整備」

2) 柏崎市環境基本計画 (平成21年3月)

～低炭素社会づくりに向けて～

「地球温暖化対策に取り組むまちづくり」

「資源循環型のまちづくり」

「人と自然が共生した潤いのあるまちづくり」

「環境汚染のない安心して暮らせるまちづくり」

「市民の参加・協働による環境に配慮したまちづくり」

3) 柏崎市都市計画マスタープラン (平成22年3月)

～自然と街並みが調和する美しい町 柏崎～

「集約型都市構造の実現」

「魅力とにぎわいのある中心市街地の形成」

「誰もが暮らしやすいまちづくり」

「ものづくりと技術の産業都市づくり」

「自然と文化が息づく潤いの町づくり」

4) (仮称)柏崎市第2次食育推進計画 (平成25年3月策定予定)

海・山・里の幸が豊かなまち かしわざき

～生産者も消費者も元気になるまち～

【重点目標】

「望ましい食生活の確立と実践」

「生活習慣病予防のための食事の実践」

「地域の食文化の継承・地産地消の推進」

「柏崎の食を通してのまちづくり」

5) 食の地産地消推進条例 (平成 24 年 10 月)

「食の地産地消の推進」

「安全で安心な農林水産物等の供給」

「農林水産資源を活用した幅広い交流」

「食育の推進」

2. 環境・農業に関連する主な施策及び既存の計画

柏崎市第四次総合計画 後期基本計画における農業・環境関連の施策の内容を整理します。さらに先行して作成されている柏崎市田園環境マスタープラン、高柳町田園環境マスタープラン、西山町農村環境計画の概要を整理します。

(1) 柏崎市第四次総合計画 後期基本計画における環境・農業関連の施策

1) 地場産業の振興

表 3-1 施策の基本方向と内容(地場産業の振興)

施策の基本方向	施策の内容
1. 農林水産業の振興	営農システムの再構築と経営構造の改善 地産地消の推進 魅力ある農産物の生産拡大 6次産業化の推進 国営土地改良事業の推進と生産・環境基盤の整備

表 3-2 施策の目標指標(地場産業の振興)

施策の目標指標	現在値(平成 22 年度)	目標値(平成 28 年度)
担い手への農地集積率(1)	56.1%	60%
地元農産物の学校給食への供給量	128 トン	135 トン
エコファーマーの延べ認定者数	304 人	400 人
農業生産基盤の整備率(ほ場整備率)	44.3%	46.3%

1 総耕地面積に対する認定農業者などの耕地面積の割合

2) 人と自然の共生社会の推進

表 3-3 施策の基本方向と内容(人と自然の共生社会の推進)

施策の基本方向	施策の内容
1. 低炭素社会の形成	温暖化対策の推進 省エネルギーの普及促進 再生可能エネルギーの活用の推進 電気自動車等の普及
2. 循環型社会の形成	3R(スリーアール)の推進 廃棄物の適正処理の推進 環境保全・環境美化活動の推進
3. 自然共生社会の形成	豊かな自然環境の保全と活用 柏崎・夢の森公園、環境学校の展開

表 3-4 施策の目標指標(人と自然の共生社会の推進)

施策の目標指標	現在値(平成 22 年度)	目標値(平成 28 年度)
二酸化炭素排出量(市内総排出量)	933 千トン/年 (平成 20 年度)	866 千トン/年
住宅用太陽光発電能力	510kw	1,700kw
電気自動車等の延べ導入台数	34 台	1,000 台
資源化率(1)	20.1%	23.3%
ごみ総排出量(2)	25,525 トン	23,024 トン
クリーンデー柏崎参加者割合(3)	27%	30%
里山保全活動へのボランティア参加人数	1,154 人/年	1,500 人/年

1 算出方法：資源化率＝資源化量／ごみ・資源物の総排出量

2 粗大ごみ、燃やすごみ及び燃やさないごみの合計(資源物の施設再回収分を除く。)

3 住民基本台帳人口(各年 9 月末現在)に対するクリーンデー柏崎参加人数の割合

(2) 旧市町村の農村環境に関する計画

1) 田園環境マスタープラン

表3-5 田園環境マスタープランの主な内容(旧柏崎市、旧高柳町)

旧市町村名	環境保全目標 (キャッチフレーズ)	環境保全の基本方針等
柏崎市	風になびく稲穂 せせらぎと緑豊かな柏崎	【自然環境】 生息環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・生態系に配慮した水路整備 ・ため池保全 ・貴重植物の移植 田園空間の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・石積み護岸水路 ・棚田の保全 ・小川の保全 ・森の保全 自然林の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の森 ・ブナ林の保全 【社会環境】 循環型農業 <ul style="list-style-type: none"> ・集落排水路施設の汚泥還元 ・堆肥センターの利用 自然に親しむ活動・参加型 <ul style="list-style-type: none"> ・環境共生公園支援 ・田んぼの学校 ・花のボランティア 【生産環境】 農業基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・大区画ほ場整備 ・灌漑排水路整備 ・幹線農道整備
高柳町	自然たっぷり、 じよんのびの里高柳	【自然環境】 <ul style="list-style-type: none"> ・希少な生物の保護と増殖 【社会環境】 <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成と指導者の養成 ・ボランティア活動や学校教育などによる棚田の保全活動 ・花いっぱい活動 【生産環境】 <ul style="list-style-type: none"> ・優良農地の保全と荒廃農地の再生を推進 ・立地条件に合致した基盤整備の推進 ・棚田などの自然を配慮した計画の推進

2) 農村環境計画

表 3-6 農村環境計画の主な内容(旧西山町)

旧市町村名	環境保全目標 (キャッチフレーズ)	環境保全の基本方針等
西山町	世界一夕陽の大きく見える海、 大地の緑、縄文文化が栄えた 歴史のまち 西山	【自然環境】 世界一夕陽の大きく見える海、大地の緑、 豊かな自然を大切にす町 ・山の清水の保全 ・棚田の保全 ・生き物との共存 安心して暮らせる花と緑と歴史の町 ・社会基盤整備の推進 ・若者定住 ・伝統文化の継承 ・地域交流の促進 資源循環型農業をめざす町 ・担い手の確保 ・優良農地の確保 ・ブランド化の推進 ・地産地消の推進 ・観光農業の推進